

(標準的なモデルであり、個によって指導内容が異なる)

教科等のねらい

- ・日常生活に必要な数量や図形などに関する初歩的な事柄についての理解を深め、それらを扱う能力と態度を育てる。

主な指導内容

- ・日常生活における初歩的な数量の処理や計算
- ・長さ、重さなどの単位の理解と実測
- ・図形の特徴や図表の内容の理解
- ・金銭や時計、暦などの使い方

評価方法

- ・4観点(①関心・意欲・態度、②見方や考え方、③技能、④知識・理解)を基に目標を設定し、複数職員の観察から評価する。
- ・指導したことを実際の生活に生かすことができたか、複数名で評価する。

指導計画

月	単元名	指導内容 (◎重点)	主な学習活動	評価の観点
4 5	「身近な数字の決まり」	○時間 ・簡単な時間の読み取り	・タイムタイマーを使って時間の経過を理解する。 ・授業時間や休み時間など、必要な時間を求める。	④ ③
		◎暦 ・1週間、1か月、1年の関係	・カレンダーを使って、学校行事を絡めながら週、月、年の関係を知る。	④
6 7	「足し算・引き算」	◎数量の処理、計算 ・1～1000までの数の数え方 ・数の大小、順序 ・個数 ・2位数以下の加減法	・1から1000までの数の範囲で、数を読んだり書いたりする練習をする。 ・具体物を「個」「枚」「本」など個数をつけて数える。 ・生活の中の場面で具体化できる2位数以下の加法減法の問題を計算する。	③ ③ ③④
	「気温とグラフ」	○数値測定と図表の描き方 ・温度計の読み取り方 ・棒グラフ、折れ線グラフ	・温度計の読み取り方を知る。 ・毎日の気温を測って、棒グラフや折れ線グラフの記録をつける。	③ ①
9 10	「かけ算・割り算」	○数量の計算 ・2位以下数の乗法、除法 ・九九	・2位数以下の簡単な乗法、除法を使う場面が分かり、式で表したり計算したりする。 ・計算表や暗記カードを使って段ごとに九九を覚える。 ・計算機を使って計算する。	① ① ③④
11 12	「買い物」	◎買い物学習 ・金種の理解 ・両替 ・支払いの計算 ・計算機を使った計算	・お金を使って金種を覚え、簡単な両替操作をする。 ・買い物カードや広告を使って支払い練習を行う。 ・値段と同じ金額を出す練習から、おつりをもらう支払い練習をする。	② ① ③

1 2	「身近な図形」	○図形 ・正方形、長方形、三角形、円の特徴 ・定規やコンパスの使い方	・正方形、長方形、三角形、円などの簡単な図形のおよその特徴を知る。 ・定規やコンパスを使って簡単な図形を描く。	④ ③
1 2 3	「計る」	◎量と測定 ・長さ (cm、m) ・重さ (g、kg) ・l、cc、ml ・測定道具の使い方	・具体例を参考にしたり実際に計ったりして、長さや重さの単位を知る。 ・身近な物を物差しやはかり、計量カップなどの測定道具で計る練習を行い、使い方に慣れる。	① ③

※○iPad アプリを適宜使用して学習を進める。(例：すらすら図形、お金の学習など)

【デイリー・カリキュラム】

月	単元名	指導内容	主な学習活動	評価の観点
通年	「時間を守ろう」	◎時計 ・時刻の読み取り	・1時間=60分の関係を理解し、時計を○時△分まで読み取る。 ・日課表や時刻表を読む。	③ ④